

市民協働事業提案制度 自己評価シート

令和3年度実施事業

作成日 令和3年10月28日

事業名	人と動物（犬猫）の共生社会実現のための市民参画促進事業(動物愛護ボランティア実態調査)
記載団体 又は担当課	環境総務課

※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあがるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	4	人と動物が共生する社会の実現のために、ボランティアの活動実態を把握し、効果的な支援の方向性を検討するという目的は共有できていた。
②役割分担は適切にできましたか。	4	市は現状と問題点を提案団体に伝え、提案団体はボランティアからの声を踏まえた提案を市にできていた。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	4	電話やメール、来課打合せにより、支障なく必要な連絡ができていたと思う。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	4	それぞれの立場からの考えを率直に意見交換できていたと思う。今後も協力できるような良好な関係が築けた。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	3	実態把握のみであるため、直接市民サービスが向上することはなかったが、これまで把握できていなかった富士市にいる動物愛護に関わる担い手を把握できたことは良かった。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

■ (2) 事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足 (評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など)
①目的・目標は達成できましたか。	3	現状で問題となっていることを共有し、その問題の構造を各要素に分けて、効果的な支援の方向性を考えることができたと思う。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	4	概ねスケジュールどおりに実施できたと思う。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	4	当初の提案内容の一部である実態調査のみの実施となったが、調査結果は、費用に見合った成果であったと思う。
④事業に対する「受益者 (市民) の満足度」は十分に図られましたか。 (受益者からの評価が分かる場合)	3	※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など
		市民に直接影響がある事業ではないので評価が難しいが、住環境を改善し、動物愛護を推進するためにできる取組を改めて考える機会になったと思う。

■ (3) その他、課題や改善方法など

静岡県動物愛護管理推進計画の指標の中でも、殺処分頭数はかなりの割合で減ってきているが、動物をめぐる多くの問題についての苦情は減っておらず、行政の喫緊の課題としては動物が嫌いな人への理解を求めたり、周りに迷惑をかけずに適切に動物を飼うように助言をしたりといったことのほうが必要と感じている。保護犬・保護猫をペット購入時の選択肢にしたり、飼う前にマッチングしたりするための相談窓口があったらよいと思うが、そういった機能だけでなく、苦情を含めた相談を受け付けられる相談窓口であれば、市民と行政双方にメリットがある、より有効な事業提案となったと思う。ボランティアへの支援は必要なことであるが、多様な行政サービスの中で、できる支援には限りがあり、意見の全てを反映することはできないが、参考にさせていただきたいと感じた。